

2022年度

生協総研賞 第20回助成事業のご案内

生協総研賞「助成事業」とは、人々の暮らしをめぐる研究の発展と、生活協同組合運動に関する研究の発展を目的とするものです。本年も、みなさまのご応募をお待ちしております。

なお、本事業の詳細と「応募申請書」は、生協総合研究所のホームページ内、当該事業のページ(<https://ccij.jp/jyosei/index.html>)をご覧くださいの上、ダウンロードをお願いいたします。

対象とする研究領域

- ・生活協同組合の今日的な課題および事業・組合員活動に関する実践的な研究
- ・暮らしの実態に関する経済的、社会的、歴史的視点等からの研究
- ・消費社会及び消費者組織、社会運動に関する研究
- ・地域社会、社会政策、福祉政策・事業、地球環境等に関する研究
- ・大規模災害後の被災地域が直面している課題に関する研究



応募申請書のダウンロードはこちらから

助成事業の実施方法

- (1) 応募申請書の提出期限
・2022年7月29日(金) *メールでの提出が必要です。
- (2) 研究助成金の供与
・選考委員会によって助成が適正と判断された研究企画に対して、原則として直接研究費の申請額の全額ないし一部を助成します。
・助成金は、総額300万円を上限とし、個人研究、共同研究ともに1件50万円以内とします。
・採否は、10月下旬に連絡します。
- (3) 募集の対象
 - ① 個人研究
大学・各種研究所等の研究者・大学院生、及び生協・NPO・市民組織等の役職員・関係者等による個人の研究・調査を主な対象とします。
 - ② 共同研究
「個人研究」の対象者と同様です。但し、申請者(研究代表者)を中心として、若干名の参加メンバーによって構成し、研究するものを対象とします。
 - ③ 研究期間
2023年11月末までに完了する研究とします。
*なお、新進・中堅の申請者を優先して採用します。

助成対象者の責務

- (1) 中間報告書を2023年6月末日までに提出し、選考委員会からのコメントを受けるものとします。
- (2) 研究論文を2023年11月末日までに提出して頂きます。この論文は、『生協総研賞・第20回助成事業研究論文集』として刊行します。
- (3) 各論文の提出者(共同研究の場合は申請者本人)は、2024年2月下旬～3月上旬に開催を予定する「第20回生協総研賞助成事業 論文報告会」で報告を行う必要があります。
- (4) 助成金の使途について、収支報告書を提出して頂きます。

生協総研賞・選考委員会の構成 (2022年5月時点)

- 【選考委員長】
宮本 みち子(放送大学／千葉大学名誉教授)
- 【選考副委員長】
岩田 三代(ジャーナリスト、元日本経済新聞編集委員)
- 【選考委員】(五十音順)
麻生 幸(元千葉商科大学教授)
遠藤 公嗣(明治大学名誉教授)
戒能 民江(お茶の水女子大学名誉教授)
白石 正彦(東京農業大学名誉教授)
土屋 敏夫(日本生活協同組合連合会代表理事会長)

本件の照会は事務局担当へお願いいたします。
E-mail : ccij_prize@jccu.coop